



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,136	3.8	10,820	1.6	10,996	1.4	7,437	1.2
2022年3月期第1四半期	20,370	26.9	10,648	58.1	10,842	57.2	7,348	59.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 7,498百万円 (△1.9%) 2022年3月期第1四半期 7,646百万円 (64.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	30.39	30.34
2022年3月期第1四半期	29.47	29.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	222,304	179,219	79.4
2022年3月期	229,354	182,473	78.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 176,585百万円 2022年3月期 179,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	29.20	ー	37.00	66.20
2023年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2023年3月期(予想)	ー	33.70	ー	33.70	67.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	3.1	20,860	1.4	21,210	1.3	14,700	3.4	60.10
通期	84,100	3.2	43,100	3.7	43,800	3.4	30,000	0.9	122.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	257,000,000株	2022年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	12,541,386株	2022年3月期	68,051,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	244,683,814株	2022年3月期1Q	249,322,691株

(注) 2023年3月期1Qの期末自己株式数には151,100株、2022年3月期の期末自己株式数には187,200株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2022年8月2日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、依然として半導体などの部品調達不足による生産遅延や納期の長期化が続いており、新車登録台数（軽自動車含む）は888千台（前年同期比14.1%減）となりました。

中古車登録台数（軽自動車含む）は、新車の減産による販売台数減の影響で、下取りにより発生する中古車が減少したことなどから、1,543千台（前年同期比6.7%減）となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

中古車輸出市場は、ロシア・ウクライナ情勢により4月に一時的に大きく減少したものの、為替相場が円安水準となったことで5月以降は前年同程度まで回復し、輸出台数は325千台（前年同期比3.0%減）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場における出品台数は1,773千台（前年同期比4.4%減）、成約台数は1,200千台（前年同期比3.4%減）、成約率は67.7%（前年同期実績67.1%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高21,136百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益10,820百万円（前年同期比1.6%増）、経常利益10,996百万円（前年同期比1.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,437百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

オートオークション

オートオークションの出品台数は711千台（前年同期比0.3%減）、成約台数は455千台（前年同期比1.3%増）、成約率は64.0%（前年同期実績63.0%）となりました。

オートオークション市場で流通する中古車が減少する中で、出品台数についてはわずかに減少したものの、成約率が上昇したことなどにより増収増益となりました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高16,766百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益10,462百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、オークション相場が高水準で推移したことにより増収となったものの、同業他社との買取価格競争による買取相場の上昇や、販売費の増加により増収減益となりました。

事故現状車買取販売事業は、高額車両の取扱いが増加したことにより増収となったものの、販売台数が減少したことにより営業損失となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高2,302百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益12百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

その他

リサイクル事業は、金属スクラップ相場が高値圏で推移したことで売上は増加したものの、5月から相場が下落基調に転じたことから利幅が縮小し、増収減益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高2,067百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益341百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は222,304百万円となり、前連結会計年度末と比較して7,049百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が7,675百万円減少したことによるものです。

負債合計は43,085百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,794百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が3,989百万円減少したことによるものです。

純資産合計は179,219百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,254百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を7,437百万円計上したこと、剰余金の配当を9,079百万円実施したことに加え、自己株式の取得により1,632百万円減少したことによるものです。

なお、自己株式の消却により、資本剰余金が9,922百万円、利益剰余金が44,414百万円、自己株式が54,337百万円それぞれ減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して8,675百万円減少し、66,805百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,304百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11,005百万円（前年同期比1.5%増）、法人税等の支払額7,221百万円（前年同期比0.5%増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は2,599百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出1,001百万円（前年同期実績一百万円）、定期預金の純増加額1,000百万円（前年同期実績一百万円）、有形固定資産の取得による支出493百万円（前年同期比33.2%増）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は9,380百万円となりました。これは主に、配当金の支払額9,079百万円（前年同期比31.0%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（2022年5月10日発表）の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,380	71,705
オークション貸勘定	14,572	16,267
受取手形、売掛金及び契約資産	2,425	1,744
有価証券	3,000	3,000
棚卸資産	1,206	956
その他	3,305	3,270
貸倒引当金	△18	△22
流動資産合計	103,872	96,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,426	32,972
土地	63,577	63,577
建設仮勘定	245	90
その他（純額）	3,130	3,057
有形固定資産合計	100,379	99,698
無形固定資産		
のれん	8,366	8,231
その他	6,209	6,052
無形固定資産合計	14,575	14,283
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,632	11,501
貸倒引当金	△106	△101
投資その他の資産合計	10,526	11,400
固定資産合計	125,481	125,383
資産合計	229,354	222,304

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	21,213	22,417
支払手形及び買掛金	698	589
短期借入金	186	—
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	7,578	3,589
引当金	782	1,195
その他	7,203	6,074
流動負債合計	37,884	34,085
固定負債		
長期借入金	2,356	2,301
退職給付に係る負債	872	905
資産除去債務	623	626
その他	5,142	5,166
固定負債合計	8,996	9,000
負債合計	46,880	43,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,915	8,992
利益剰余金	211,843	165,786
自己株式	△65,039	△12,263
株主資本合計	184,600	181,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	930	839
土地再評価差額金	△5,636	△5,636
退職給付に係る調整累計額	△14	△13
その他の包括利益累計額合計	△4,719	△4,810
新株予約権	457	457
非支配株主持分	2,136	2,176
純資産合計	182,473	179,219
負債純資産合計	229,354	222,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	20,370	21,136
売上原価	7,521	8,026
売上総利益	12,848	13,109
販売費及び一般管理費	2,200	2,288
営業利益	10,648	10,820
営業外収益		
受取利息	1	1
不動産賃貸料	189	182
雑収入	51	41
営業外収益合計	242	225
営業外費用		
支払利息	3	2
不動産賃貸原価	42	42
雑損失	2	4
営業外費用合計	48	49
経常利益	10,842	10,996
特別利益		
固定資産売却益	4	11
特別利益合計	4	11
特別損失		
固定資産除却損	0	1
その他	—	0
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	10,846	11,005
法人税等	3,353	3,416
四半期純利益	7,492	7,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	151
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,348	7,437

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	7,492	7,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	153	△91
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	154	△90
四半期包括利益	7,646	7,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,502	7,346
非支配株主に係る四半期包括利益	144	151

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,846	11,005
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	1,251	1,152
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	134	134
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	434	412
受取利息及び受取配当金	34	33
支払利息	△1	△1
有形固定資産除売却損益 (△は益)	3	2
オークション勘定の増減額	△3	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,131	△491
仕入債務の増減額 (△は減少)	△119	680
未払金の増減額 (△は減少)	△128	△109
預り金の増減額 (△は減少)	△224	△245
その他	△364	△526
小計	△1,011	△1,517
利息及び配当金の受取額	9,710	10,520
利息の支払額	10	8
法人税等の支払額	△3	△2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,188	△7,221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	2,529	3,304
有形固定資産の取得による支出	—	△1,000
有形固定資産の売却による収入	△370	△493
無形固定資産の取得による支出	4	6
投資有価証券の取得による支出	△192	△106
その他	—	△1,001
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△559	△2,599
長期借入金の返済による支出	826	△186
預り保証金の預りによる収入	△55	△55
預り保証金の返還による支出	44	82
自己株式の取得による支出	△35	△66
自己株式の売却による収入	—	△1,632
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	50	50
配当金の支払額	—	1,632
非支配株主への配当金の支払額	△6,928	△9,079
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△60	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,158	△9,380
現金及び現金同等物の期首残高	△4,188	△8,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,870	75,480
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,681	66,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月8日開催の取締役会決議に基づき、2022年4月1日から2022年5月31日までに、自己株式775,700株を取得いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,632百万円増加しております。

また、2022年5月31日開催の取締役会決議に基づき、2022年6月30日付けで、自己株式56,250,000株を消却いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が9,922百万円、利益剰余金が44,414百万円、自己株式が54,337百万円それぞれ減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が8,992百万円、利益剰余金が165,786百万円、自己株式が12,263百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動車 等買取販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,343	2,110	18,453	1,917	20,370	—	20,370
セグメント間の 内部売上高または 振替高	80	0	80	0	81	△81	—
計	16,424	2,110	18,534	1,917	20,451	△81	20,370
セグメント利益	10,267	18	10,285	357	10,643	4	10,648

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動車 等買取販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,766	2,302	19,069	2,067	21,136	—	21,136
セグメント間の 内部売上高または 振替高	68	—	68	0	68	△68	—
計	16,834	2,302	19,137	2,068	21,205	△68	21,136
セグメント利益	10,462	12	10,474	341	10,815	4	10,820

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業等であります。

2. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	203	211	3.8	841
営業利益	106	108	1.6	431
経常利益	108	109	1.4	438
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	73	74	1.2	300

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	39	39	0.7	158
成約手数料	37	38	0.8	156
落札手数料	58	58	0.8	238
バイクオークション手数料	2	2	8.8	8
商品売上高	3	6	71.5	14
その他の営業収入	22	22	2.1	93
オートオークション計	163	167	2.6	670
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	12	13	9.5	52
事故現状車買取販売	8	9	8.6	47
中古自動車等買取販売計	21	23	9.1	99
《その他》				
リサイクル事業	18	20	7.9	69
その他	0	0	3.7	0
その他計	19	20	7.8	70
合計	203	211	3.8	841

(注) 1. 顧客との契約から生じる収益およびそれ以外の収益を区分して記載しておりません。

2. バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	5	5	6.6	68
完工ベース	1	4	183.4	69
減価償却費	12	11	△8.5	47